

ご存知ですか 緑化助成制度
屋上・壁面緑化/生け垣造成

屋上緑化
設置費用の1/2または1㎡あたり2万5000円のいずれか少ない額（上限500万円）

壁面緑化
設置費用の1/2または1㎡あたり1万5000円のいずれか少ない額（上限45万円）

生け垣造成
設置費用の1/2または1㎡あたり1万8000円のいずれか少ない額（上限50㎡）※
※既存塀取り壊しは塀の材質により1㎡あたりの上限額が異なります。

●屋上緑化・壁面緑化助成
建築物に新たに設置される緑化(屋上・壁面)に対し、費用の一部を建物の所有者に助成します(上限500万円・壁面のみは上限45万円)。
対象建築物
(1)敷地面積250㎡未満の新築及び既存の建築物上の緑化を行う場合
(2)敷地面積250㎡以上で、竣工後5年以上の既存建築物
対象者
港区内で新たに屋上等に緑化する建築物の所有者。屋上等緑化は5年以上維持してください。
●生け垣造成助成
樹木を主体とした垣根(樹木の高さは1m以上・長さは5m以上)を道路沿いの見やすいところに作る人に、費用の一部を助成します。(50㎡を限度)
上記の助成制度をご希望の方は、必ず工事着手前にご相談ください
☆緑化助成で素敵な緑が誕生しました☆

500円
苗木と液体肥料 有料配布のお知らせ
●配布品：1. リーガースベゴニア(オレンジ・ピンクのどちらか)(1セット) 2. 液体肥料(原液)
●配布日：10月24日(月) 午前10:00～午後1:00 時 間 (150セットがなくなり次第終了)
●場 所：赤坂地区総合支所 正面入り口
●お問い合わせ／赤坂地区総合支所まちづくり推進担当
電話：03-5413-7038

赤坂地区総合支所が独自に取り組む
地域事業について紹介します

第3回
未来に向け共存できるまち 赤坂・青山
～コミュニケーションを育むまち～

「地域事業」とは…
地域の課題を地域で解決し、地域の魅力をより高めるため、赤坂地区総合支所が、地区版基本計画を策定する上で、区民参画組織からの提言を踏まえ創出した6事業です。政策の方向に沿って、3つの分野(「かがやくまち」「にぎわうまち」「はぐくむまち」)に分類しています。今回は「かがやくまち」「にぎわうまち」の中から1つずつ紹介します。

●かがやくまち(街づくり・環境)
地球温暖化防止に向けた取組みの推進
減らそうCO₂ ～赤坂・青山～
赤坂地区総合支所では、CO₂削減及び地球環境保護への意識啓発を実施しています。
本年度は国産間伐材を使用した手桶と柄杓を30組製作し、江戸文化の知恵「打ち水」用として赤坂・青山地区で活動する団体や企業に貸出をしています。また、CO₂削減をテーマとした講談を開催し、参加者には啓発品のエコバック、地球型蛍光灯を配布しています。
【平成23年度実施内容】
●8月4日【2011 打ち水作戦in北青山】
北青山三丁目住宅自治会、老人クラブ、青山児童館の児童、青山保育園の園児が参加し、打ち水を実施。

●にぎわうまち(コミュニティ・産業)
地域活動に関する情報基盤の整備
講談を活用した地域情報の発信
地域の皆さんへの新たな情報の発信ツールとして赤坂地区総合支所では「講談」を活用しています。講師神田織音さんを、赤坂・青山地区のイベントに無料で派遣し、「講談」を通じて、地域の方に必要なお役立ち情報をわかりやすくお届けします。
講談内容
①地域防災と地域の底力
②減らそうCO₂
③救急医療情報キットと住民基本台帳カード
④防犯に対する意識啓発
⑤赤坂のまちの歴史や選り変わり
⑥青山のまちの歴史や選り変わり
※ご希望により古典講談とあわせて実施も可能
【平成23年度実施内容】
●9月8日 長寿を祝う集い「地域防災について」ほか
地域に派遣 4件
今後も町会・自治会・商店会のイベントや会合、学校や地域の団体など、依頼を希望する団体を募集しています。お気軽にご相談ください。
●お問い合わせ／赤坂地区総合支所協働推進課地区政策担当
電話：03-5413-7013
次号は「かがやくまち」の企業等と連携した防災行動計画の作成を紹介(予定)します。

赤坂警察署からのお知らせ

オレオレ詐欺の犯人が
ハローページを使って
だます相手を探している!!

ニセの警察官や銀行協会を騙ってキャッシュカードを騙し取るオレオレ詐欺では、被害者の方のほぼ全員がハローページに名前を載せていました。必要があれば、ハローページに名前が載らないよう手続きをして、犯人から電話が繋がってこないようにしましょう。

重要
ハローページから名前を削除するには?
タウンページセンター 0120-506-309
または 116で手続きできます。

※ハローページから名前を削除しても、104の電話番号案内で番号を案内することもできます。詳しくはNTTのオペレーターにお尋ねください。
●お問い合わせ／赤坂警察署 電話：03-3475-0110

赤坂消防署からのお知らせ

消防法令違反の建物の情報が
ホームページで確認できます

建物の安全に関する情報が
地図でも検索できるようになりました

東京消防庁では、本年4月1日から建物や店舗を立入検査した結果、公表対象に該当した場合に、東京消防庁のホームページや消防署等の窓口で公表することとなりました。これは、平成21年11月に発生した高円寺南雑居ビル火災の状況やその後に行った緊急一斉立入検査の結果、多くの雑居ビルで消防法令違反が繰り返され、防火意識が希薄であることが明らかになったことを踏まえ、都民のみならず建物を安心してご利用いただくため、また、地域コミュニティと連携して地域全体の安全意識を高めるために創設されたものです。
公表内容は、パソコンや携帯電話で消防法令違反の建物名称及び違反の内容などの情報を確認することができるとは、地図上で建物の安全に関する情報を確認でき、建物を安心して利用する時の目安となります。

●パソコン用
http://www2.wagamachi-guide.com/tfd-bouka/
●携帯用
http://wagmap.jp/tfd-bouka/

救命講習で応急手当を学ぼう!

けが人や急病人にとって、その場に居合わせた人の応急手当はとても大切です。いざという時に大切な命を守るため、救命講習を受講して、応急手当の知識と技術を身につけましょう。
また、救命講習修了者には認定証が交付されます。認定期間は3年ですので、救命技能認定証の交付年月日を確認して、期間内に再講習を受講しましょう。

●お問い合わせ／赤坂消防署 電話：03-3478-0119

あの人の人 地域のこと

町会・自治会に加入しましょう!
●お問い合わせ／協働推進課 協働推進係 電話：03-5413-7272

赤坂・青山の町会・自治会のことを
地域で活躍しているひとにききました

赤坂 赤坂一ツ木町会…みんなに愛されるまちづくり

一ツ木通りから西に入る筋は、寺社があり、特に円通寺坂へぬける道は多くの寺が建ち並ぶ寺町でした。日没とともにひっそりとした静かな町は、昭和30年代、TBS本社に移転によって、芸能人や映画スターが町を歩く華やかで賑やかな町となりました。
町会は、子どもからお年寄りまでみんなが加入できる団体だからこそ人と人のつながりを大切に、お互い助け合える町会でありたいと思います。なごり活動しています。町会単独で実施していた浄土寺の盆踊りは、今では周りの町会も協力していただき、沢山の人が訪れるようになりました。「一ツ木」の地名は、「人戀ざむ村」が由来しているという説がありますが、みんなに愛されるまちづくりをめざす赤坂一ツ木町会は、「人と人をつなぐ」あたためたい町会です。
赤坂一ツ木町会 出野 泰正 会長 談

青山 北青山一丁目町会…人と人のつながりを創出する活動

北青山一丁目町会は、国道246号線(青山通り)の北側、外苑東通りといちよう並木の間位置しています。
古くは、路面電車の走る青山通り沿いに多くの商店が軒を連ねたこの地域ですが、平成のバブル期以降、事業所の進出を理由に周辺環境は著しく変化し、相次ぐ住民の転出により町会会員も30世帯ほどにまで減少しました。町会の活動も以前に比べると寂しいものになりつつありますが、毎年2月の初午(はつうま)には、町内の弥助稲荷に町会員が集い、一年の安全を祈念しています。
地域を取り巻く環境が刻々と変化してゆく中で、伝統ある行事を通じて、人と人とのつながりを守り続けている町会です。
町会活動は、住民や事業者をはじめ、地域に関わる人々が顔を合わせ、助け合える機会として、また、地域の防犯・防災・環境美化等を考えるうえで非常に重要です。
現在、北青山一丁目町会では、町会員数は少ないものの、単位町会での活動に加えて、複数の町会・自治会と連携した夜間パトロールの実施や防災訓練の開催にも取り組んでいます。
今後も、町会の枠に捉わらず、地域に関わる人々が互いを知り、顔の見える関係を築くとともに、誰もが安心して暮らせる青山地域の実現に向けて、積極的な活動を展開していきたいと思っています。
北青山一丁目町会 森脇 健三 会長代行 談

赤坂・青山にある大使館・観光局「アルメニア共和国」

Republic of Armenia
アルメニア共和国

●面積 約2万9,800km²
(日本の約13分の1)
●人口 約320万人
●首都 エレバン
●言語 公用語はアルメニア語
●宗教 アルメニア正教
駐日アルメニア共和国大使館
〒107-0052 東京都港区赤坂1-11-36
レジデンス バイカウテス230
http://japan.mfa.am/en/

駐日アルメニア共和国大使館
がここ赤坂にできたのは2010年の秋です。現在のアルメニア共和国は1991年9月21日に旧ソ連から独立。この9月21日にはホテルオークラで建国20周年のイベントを行いました。在日20年以上になる大使館特別顧問のグラント・ポゴシヤンさんにお話を聞きました。
アルメニアの歴史とキリスト教
アルメニアは世界で最も古い文化を持つ国の一つで、紀元前9世紀の最初の統一王国は旧約聖書にアラマト王国として登場しています。301年には世界で最初に公式にキリスト教を国教としており、教会はアルメニア独自の教会組織を持っています。
アプリコット(杏)「アルメニアの果物」
起伏に富んだ山岳地帯の多い内陸国であるアルメニアには、日本と同じように四季があり、季節毎の野菜や果物を楽しむことができます。その中でもアプリコット(杏)はラテン語で「アルメニアの果物」という意味をもつ国を代表する果物です。お酒やジュースが作られる他、杏の核から作られるドゥドゥクという音楽楽器は紀元前に生まれています。
アルメニアのお酒
酒蔵にはとても古い歴史があります。19世紀頃から作られていたと言われるコンヤツグはアルメニア・ブランドと呼ばれており、元英国首相チャーチルは年間約400本購入していたという話もあるほどの味わいです。
また、ワインは紀元前8世紀頃から作られていました。アルメニア南部の洞窟で、世界最古の(6100年前)ワインナーが見つかったと、今年の初めにオンラインのナショナルジオグラフィックが報じました。
はるか遠い昔に想いをはせながら味わってみたい。そういう気持ちにさせるアルメニアのお酒です。
アルメニア・ブランデー

青山霊園眺望
～人と歴史～

第9回
田中久重(からくり儀右衛門)
(1799年～1881)
1種口12号30.31側10番

人形が矢を手にし、放つだけでなく、4本の矢のうち1本は的をはずす遊び心や人形の表情にも変化を加え、高度な技術を開発した「弓曳き童子」は、からくり人形で有名な田中久重氏の代表的作品です。
1799年、福岡県久留米市のべっこう細工師・田中氏の長男として生まれた久重は、幼い頃から発明によって人を喜ばせることが好きな少年でした。幕末の暗黒とした時代に、庶民の娯楽として人気であったからくり人形に魅せられて、久重は、皆を喜ばせる発明に夢になりました。
1837年、大塩平八郎の乱が勃発して焼け野原になった頃に作られた「いつまでも消えない灯り」として人気の「無尽灯」は、空気の圧力を利用し、菜種油が管をつたって灯心に昇る原理ですが、これは商売や生活の向上に繋がりました。
そして、ロンドンで初の万国博覧会が開催された1851年、からくり時計の最高傑作「万年時計」(正式名称:万年自鳴鐘)が完成しました。万年時計は、洋式時計と、昼夜をそれぞれ六等分する当時の「不定時法」の時計が同時に時を刻みます。さらに十二支や七曜、二十四節気、月の満ち欠けの表示機能は、いくつもの歯車を通して動かす構造になっています。歯車やゼンマイは、工作機械を使わず、すべて手作りです。
久重が創造力をはたらかせ、複数の機能や技術を一つに融合させるべく探求した努力が見てとれました。
機構の精巧ささることながら、優美さと気品を漂わす伝統工芸品としても高い精度を誇っており、2006年には国の重要文化財に指定されました。この万年時計により、田中久重の名前は世界に広く知られました。
明治維新後、近代化を進める明治政府は、通信事業について優れた技術者が必要となり、田中久重は東京に呼ばれ、赤煉瓦の洋館が建つ新しい街、銀座に工場と店舗を構えました。これが、(株)東芝の創業です。この時久重は76歳でしたが、技術者として精密加工と電信技術を高めただけでなく、新しい日本の技術のために奔走しました。
「万般の機械 考案の依頼に応ず」東芝の創業以来の経営指針になりました。
久留米市 市民文化部 文化財保護課 提供

赤坂・青山子ども中高生共育事業

共育月間をたのしもう!!
11月は、赤坂・青山地区の団体や企業が協力して、子ども向け事業を多数開催します。地域のみんなで作る新しいイベント「共育月間」。
ぜひ、遊びにきてください。

①赤坂・青山共育フェスティバル
広大な檜町公園(雨天の場合はこどもの城)で開催する、赤坂・青山の団体や企業が集まった子ども向けのビッグなイベントです。
気軽に参加できて、みんなで楽しめる企画をたくさん用意しています。
【日時】11月3日(木・祝) 午後1時～4時
【内容】子どもだてしや、ドイツ遊び、パルーンアート、こま回しやけん玉などの伝統遊び、絵本の読み聞かせ、スラックライン(スポーツ綱渡り)、オリジナルカード作り、工作教室など
②各団体・企業による各種プログラム
平日土日問わず、赤坂・青山の各地で楽しい子ども向けプログラムを多数開催します!
※くわしくは、10月に配布するチラシや、共育情報局ホームページ(<http://www.akasaka-aoyama-tomoiku.net/>)をご覧ください。

第5回赤坂メディアアート展

「赤坂」のマスコットキャラクターをつくろう!!
デザイン大募集!!

赤坂のまちを元気にして、赤坂の魅力を全国に発信するためのマスコットキャラクターデザインを募集します。
決定したキャラクターは、今後チラシやポスター、グッズ、イベント等で活躍し、赤坂のまちを盛り上げます。
【募集期間】11月11日(金)まで
【募集内容】●赤坂をイメージしたデザインであること ●子どもから大人まで、親しみを感じるデザインであること ●着るものに活用できる2足歩行であること ●自作で未発表のもの ●誰もが愛憎を持つ愛称をつけること ●キャラクターの性格やコンセプトを明記すること
【募集内容】A4判の白い紙に、以下の項目を記載のうえ、折曲がらないよう郵送でご応募ください。応募に係る送料は、応募者負担となります。応募作品は返却しませんのであらかじめご了承ください。
●表面 ①キャラクター図案 ②コンセプト(作品意図、性格など作品の簡単な説明) ③愛称
●裏面 ④氏名(フリガナ) ⑤年齢 ⑥職業(学生の場合は学校名) ⑦住所 ⑧電話番号
※電子データの場合は、CD-R(pg形式又はPDF形式)で提出してください。
【賞】最優秀賞(1点) 賞金 10万円
優秀賞(2点) 賞金 5万円
※受賞者が18歳未満の場合は、相当額の図書カードとなります。
応募・問い合わせ先
〒107-8516 港区赤坂4-18-13 港区赤坂地区総合支所協働推進課
TEL: 03-5413-7013 FAX: 03-5413-2019
●くわしくは、赤坂地区の各施設で配布するチラシや、区のホームページをご覧ください。
赤坂青山地域情報誌 第17号
編集：港区赤坂・青山地区タウンミーティング地域情報の発信・交流分科会
発行：港区赤坂地区総合支所協働推進課 発行部数：22,000部
この情報誌についてのご意見等ございましたら、ご一報ください。
赤坂地区総合支所協働推進課
電話：03-5413-7013 FAX：03-5413-2019
再生紙を使用しています

みま改え地あ
せめ地震れ
んてににから
か？つ、考え対7
えですケ
で、る月。

It's been 7 months since 3.11.
Why not consider preparations for earthquakes once more?

第17号
平成23年10月18日発行

赤坂
AKASAKA
MYタウン
青山
AOYAMA
地域情報誌

「MYタウン赤坂青山」は、地域の人が自ら企画・取材し、編集する地域情報誌です
赤坂青山の身近で魅力ある情報の発信を目指します

ご存知ですか 緑化助成制度
屋上・壁面緑化/生け垣造成

屋上緑化
設置費用の1/2または1㎡あたり2万5000円のいずれか少ない額（上限500万円）

壁面緑化
設置費用の1/2または1㎡あたり1万5000円のいずれか少ない額（上限45万円）

生け垣造成
設置費用の1/2または1㎡あたり1万8000円のいずれか少ない額（上限50㎡）※
※既存塀取り壊しは塀の材質により1㎡あたりの上限額が異なります。

●屋上緑化・壁面緑化助成
建築物に新たに設置される緑化(屋上・壁面)に対し、費用の一部を建物の所有者に助成します(上限500万円・壁面のみは上限45万円)。
対象建築物
(1)敷地面積250㎡未満の新築及び既存の建築物上の緑化を行う場合
(2)敷地面積250㎡以上で、竣工後5年以上の既存建築物
対象者
港区内で新たに屋上等に緑化する建築物の所有者。屋上等緑化は5年以上維持してください。
●生け垣造成助成
樹木を主体とした垣根(樹木の高さは1m以上・長さは5m以上)を道路沿いの見やすいところに作る人に、費用の一部を助成します。(50㎡を限度)
上記の助成制度をご希望の方は、必ず工事着手前にご相談ください
☆緑化助成で素敵な緑が誕生しました☆

500円
苗木と液体肥料 有料配布のお知らせ
●配布品：1. リーガースベゴニア(オレンジ・ピンクのどちらか)(1セット) 2. 液体肥料(原液)
●配布日：10月24日(月) 午前10:00～午後1:00 時 間 (150セットがなくなり次第終了)
●場 所：赤坂地区総合支所 正面入り口
●お問い合わせ／赤坂地区総合支所まちづくり推進担当
電話：03-5413-7038

赤坂地区総合支所が独自に取り組む
地域事業について紹介します

第3回
未来に向け共存できるまち 赤坂・青山
～コミュニケーションを育むまち～

「地域事業」とは…
地域の課題を地域で解決し、地域の魅力をより高めるため、赤坂地区総合支所が、地区版基本計画を策定する上で、区民参画組織からの提言を踏まえ創出した6事業です。政策の方向に沿って、3つの分野(「かがやくまち」「にぎわうまち」「はぐくむまち」)に分類しています。今回は「かがやくまち」「にぎわうまち」の中から1つずつ紹介します。

●かがやくまち(街づくり・環境)
地球温暖化防止に向けた取組みの推進
減らそうCO₂ ～赤坂・青山～
赤坂地区総合支所では、CO₂削減及び地球環境保護への意識啓発を実施しています。
本年度は国産間伐材を使用した手桶と柄杓を30組製作し、江戸文化の知恵「打ち水」用として赤坂・青山地区で活動する団体や企業に貸出をしています。また、CO₂削減をテーマとした講談を開催し、参加者には啓発品のエコバック、地球型蛍光灯を配布しています。
【平成23年度実施内容】
●8月4日【2011 打ち水作戦in北青山】
北青山三丁目住宅自治会、老人クラブ、青山児童館の児童、青山保育園の園児が参加し、打ち水を実施。

●にぎわうまち(コミュニティ・産業)
地域活動に関する情報基盤の整備
講談を活用した地域情報の発信
地域の皆さんへの新たな情報の発信ツールとして赤坂地区総合支所では「講談」を活用しています。講師神田織音さんを、赤坂・青山地区のイベントに無料で派遣し、「講談」を通じて、地域の方に必要なお役立ち情報をわかりやすくお届けします。
講談内容
①地域防災と地域の底力
②減らそうCO₂
③救急医療情報キットと住民基本台帳カード
④防犯に対する意識啓発
⑤赤坂のまちの歴史や選り変わり
⑥青山のまちの歴史や選り変わり
※ご希望により古典講談とあわせて実施も可能
【平成23年度実施内容】
●9月8日 長寿を祝う集い「地域防災について」ほか
地域に派遣 4件
今後も町会・自治会・商店会のイベントや会合、学校や地域の団体など、依頼を希望する団体を募集しています。お気軽にご相談ください。
●お問い合わせ／赤坂地区総合支所協働推進課地区政策担当
電話：03-5413-7013
次号は「かがやくまち」の企業等と連携した防災行動計画の作成を紹介(予定)します。

赤坂警察署からのお知らせ

オレオレ詐欺の犯人が
ハローページを使って
だます相手を探している!!

ニセの警察官や銀行協会を騙ってキャッシュカードを騙し取るオレオレ詐欺では、被害者の方のほぼ全員がハローページに名前を載せていました。必要があれば、ハローページに名前が載らないよう手続きをして、犯人から電話が繋がってこないようにしましょう。

重要
ハローページから名前を削除するには?
タウンページセンター 0120-506-309
または 116で手続きできます。

※ハローページから名前を削除しても、104の電話番号案内で番号を案内することもできます。詳しくはNTTのオペレーターにお尋ねください。
●お問い合わせ／赤坂警察署 電話：03-3475-0110

赤坂消防署からのお知らせ

消防法令違反の建物の情報が
ホームページで確認できます

建物の安全に関する情報が
地図でも検索できるようになりました

東京消防庁では、本年4月1日から建物や店舗を立入検査した結果、公表対象に該当した場合に、東京消防庁のホームページや消防署等の窓口で公表することとなりました。これは、平成21年11月に発生した高円寺南雑居ビル火災の状況やその後に行った緊急一斉立入検査の結果、多くの雑居ビルで消防法令違反が繰り返され、防火意識が希薄であることが明らかになったことを踏まえ、都民のみならず建物を安心してご利用いただくため、また、地域コミュニティと連携して地域全体の安全意識を高めるために創設されたものです。
公表内容は、パソコンや携帯電話で消防法令違反の建物名称及び違反の内容などの情報を確認することができるとは、地図上で建物の安全に関する情報を確認でき、建物を安心して利用する時の目安となります。

●パソコン用
http://www2.wagamachi-guide.com/tfd-bouka/
●携帯用
http://wagmap.jp/tfd-bouka/

救命講習で応急手当を学ぼう!

けが人や急病人にとって、その場に居合わせた人の応急手当はとても大切です。いざという時に大切な命を守るため、救命講習を受講して、応急手当の知識と技術を身につけましょう。
また、救命講習修了者には認定証が交付されます。認定期間は3年ですので、救命技能認定証の交付年月日を確認して、期間内に再講習を受講しましょう。

●お問い合わせ／赤坂消防署 電話：03-3478-0119

あの人の人 地域のこと

町会・自治会に加入しましょう!
●お問い合わせ／協働推進課 協働推進係 電話：03-5413-7272

赤坂・青山の町会・自治会のことを
地域で活躍しているひとにききました

赤坂 赤坂一ツ木町会…みんなに愛されるまちづくり

一ツ木通りから西に入る筋は、寺社があり、特に円通寺坂へぬける道は多くの寺が建ち並ぶ寺町でした。日没とともにひっそりとした静かな町は、昭和30年代、TBS本社に移転によって、芸能人や映画スターが町を歩く華やかで賑やかな町となりました。
町会は、子どもからお年寄りまでみんなが加入できる団体だからこそ人と人のつながりを大切に、お互い助け合える町会でありたいと思います。なごり活動しています。町会単独で実施していた浄土寺の盆踊りは、今では周りの町会も協力していただき、沢山の人が訪れるようになりました。「一ツ木」の地名は、「人戀ざむ村」が由来しているという説がありますが、みんなに愛されるまちづくりをめざす赤坂一ツ木町会は、「人と人をつなぐ」あたためたい町会です。
赤坂一ツ木町会 出野 泰正 会長 談

青山 北青山一丁目町会…人と人のつながりを創出する活動

北青山一丁目町会は、国道246号線(青山通り)の北側、外苑東通りといちよう並木の間位置しています。
古くは、路面電車の走る青山通り沿いに多くの商店が軒を連ねたこの地域ですが、平成のバブル期以降、事業所の進出を理由に周辺環境は著しく変化し、相次ぐ住民の転出により町会会員も30世帯ほどにまで減少しました。町会の活動も以前に比べると寂しいものになりつつありますが、毎年2月の初午(はつうま)には、町内の弥助稲荷に町会員が集い、一年の安全を祈念しています。
地域を取り巻く環境が刻々と変化してゆく中で、伝統ある行事を通じて、人と人とのつながりを守り続けている町会です。
町会活動は、住民や事業者をはじめ、地域に関わる人々が顔を合わせ、助け合える機会として、また、地域の防犯・防災・環境美化等を考えるうえで非常に重要です。
現在、北青山一丁目町会では、町会員数は少ないものの、単位町会での活動に加えて、複数の町会・自治会と連携した夜間パトロールの実施や防災訓練の開催にも取り組んでいます。
今後も、町会の枠に捉わらず、地域に関わる人々が互いを知り、顔の見える関係を築くとともに、誰もが安心して暮らせる青山地域の実現に向けて、積極的な活動を展開していきたいと思っています。
北青山一丁目町会 森脇 健三 会長代行 談

3.11

あれから7ヶ月。大地震に対する備えについて改めて考えてみませんか？

一人ひとりの防災意識の向上が大切です。

3.11の東日本大震災以前、防災については「ちょっとだけ」関心を持っていた一区民だったと思います。しかし今回、本誌の特集を企画するにあたり、色々な角度から検証されている事例や情報を集め、機会があるごとに話練にし、かなり学習してきました。その結果、災害はどこも同じではなく、多様な生き方や生活ができるようになった現代の日本では、「一人ひとりの防災意識の向上」が必要なのだと確信するにいたりました。

大震災以降、色々なところで防災に関する情報が得られるようになり

特集

あれから7ヶ月。大地震に対する備えについて改めて考えてみませんか？

一人ひとりの防災意識の向上が大切です。

3.11の東日本大震災以前、防災については「ちょっとだけ」関心を持っていた一区民だったと思います。しかし今回、本誌の特集を企画するにあたり、色々な角度から検証されている事例や情報を集め、機会があるごとに話練にし、かなり学習してきました。その結果、災害はどこも同じではなく、多様な生き方や生活ができるようになった現代の日本では、「一人ひとりの防災意識の向上」が必要なのだと確信するにいたりました。

大震災以降、色々なところで防災に関する情報が得られるようになり

区の防災担当に聞け!!

自分の身を自分で守るための防災の心得

大地震が起こると… (東日本大震災や阪神淡路大震災での経験より)

●火災、家具の転倒、ガラスの飛散、ブロック塀の倒壊などにより、けがをするかもしれません。

●道路や橋の破壊、建物の倒壊などにより、移動が困難になるかもしれません。

●携帯電話が通じにくくなり、家族と連絡が取れなくなるかもしれません。

●公共交通機関が止まり、外出先から家に帰れなくなるかもしれません。

●電気、ガス、水道が止まってしまうかもしれません。

●銀行や郵便局のATMが使えなくなるかもしれません。

●だれも頼る人がいなくて心細くなるかもしれません。

●スーパーやコンビニから商品がなくなるかもしれません。

●避難生活が長期化するかもしれません。

だから…

日頃から

●食糧・飲料水の備蓄をしておきましょう

食糧・飲料水は3日分を目安に家族構成に合わせて備蓄しておきましょう。食糧はアルファ米やカンパン、飲料水はペットボトル入りのものがいいでしょう。

●家具の転倒防止やガラスの飛散防止対策をしましょう

住居の耐震化に匹敵するほど重要な震災対策です。区の助成制度を利用するなどし、必ず実施しましょう。寝室には大きな家具を置かない、重いものを上に置かないなどの工夫も大切です。

●いざというときの連絡手段を決め、家族で共有しておきましょう

災害用伝言ダイヤルや各携帯電話会社の提供する災害時伝言板など、さまざまな手段がありますが、使い方を覚えることはもちろん、どの手段を利用するかを事前に話し合っておく必要があります。

地震が起きたら…

●まず身の安全を確保しましょう

揺れを感じたらテーブルの下に隠れ頭部を守りましょう。あわてて食器棚を押さえていたりすると大変危険です。火の始末は揺れがおさまってから。

●安全を確認できたら、「一時集合場所」へ

町会・自治会単位で定めている一時的な集合場所です。近隣の安否確認や救出・救護を行います。また、避難所への集団避難を行う際の起点となる場所でもあります。

地域は自分たちで守ろう赤坂・青山の地域防災組織

赤坂地区防災ネットワーク・青山地区防災協議会

赤坂青山地区には地域防災組織として、赤坂地区防災ネットワークと青山地区防災協議会があります。地域防災の要を担う存在として、地区防災マップの作成やブロックごとに避難所運営マニュアルの作成、避難所立上げ訓練などを実施しています。

震災当日の様子と対応について、赤坂地区防災ネットワークの伊藤進副会長と青山地区防災協議会の山本忠雄会長にお聞きしました。

伊藤 進さん(赤坂地区防災ネットワーク 副会長)

山本 忠雄さん(青山地区防災協議会 会長)

●普段から心がけることはありますか。

A 日ごろから災害に備え、防災マップで集合場所などを確認し、家には最低3日分の食糧や水などを準備しましょう。

●町会・自治会が主催する避難所立上げ受け入れ訓練があるそうですね。

A 避難所運営マニュアルを元にした避難所の立上げと避難者受け入れの訓練を行っています。今年度、すでに訓練を実施した赤坂小ブロックでは、例年の3倍にあたる約150人の参加がありました。

●避難所立上げ訓練の成果は?

A 当該訓練は平成21年度に引き続き、2回目になります。前回の反省を踏まえ、多くの見直し事項が出てきました。より実効性を高めるために継続した取り組みが重要です。今回の訓練は東日本大震災の影響で、皆さんの関心も高く、初めての取組みとなる避難者誘導受入れ訓練、災害用伝言ダイヤル体験をはじめ、従来の応急救護訓練、炊き出し訓練、初期消火訓練、学校職員ボランティアによるパネル展示等多くの体験をしました。

●東日本大震災発生後の避難所運営は、いかがでしたか?

A 原則として、避難所は自宅が被害を受け、生活を続けることが困難になってしまった人たちの一時的な生活の場と位置づけられています。地域住民の中には余震の不安等から避難された方も若干名いらっしゃいましたが、ほとんどが帰宅困難者でした。「自分の身の安全は自分たちで守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」という自助・共助の精神で、町会・自治会・事業所との協力・連携づくりを構築していきたいと思います。

ポイント

●東日本大震災発生後の避難所運営は、いかがでしたか?

A 原則として、避難所は自宅が被害を受け、生活を続けることが困難になってしまった人たちの一時的な生活の場と位置づけられています。地域住民の中には余震の不安等から避難された方も若干名いらっしゃいましたが、ほとんどが帰宅困難者でした。「自分の身の安全は自分たちで守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」という自助・共助の精神で、町会・自治会・事業所との協力・連携づくりを構築していきたいと思います。

●東日本大震災発生後の避難所運営は、いかがでしたか?

A 原則として、避難所は自宅が被害を受け、生活を続けることが困難になってしまった人たちの一時的な生活の場と位置づけられています。地域住民の中には余震の不安等から避難された方も若干名いらっしゃいましたが、ほとんどが帰宅困難者でした。「自分の身の安全は自分たちで守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」という自助・共助の精神で、町会・自治会・事業所との協力・連携づくりを構築していきたいと思います。

コラム

震度の話

「震度」は地震の揺れを数字で表したもので、震度計で測定された計測震度的小数点第1位を四捨五入して1から7までの震度階(整数)を決定します。被害の幅の広い震度5と6は2分割され、あわせて10段階が決まられています。

震度0

人は揺れを感じない。

震度1

屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。

震度2

屋内にいる人の多くが揺れを感じる。

震度3

内にいるほとんどの人が揺れを感じる。棚の食器が音を立てることがある。

震度4

屋外でも揺れを感じる。不安定な置物が倒れる。

震度5弱

家具の移動や棚の物の落下の可能性。稀に水道管の被害発生。

震度5強

タンスの移動や自動販売機の転倒の可能性。一部でガス、水道の停止。

震度6弱

立っているのが困難。重い家具の多くが転倒。ドアが開かなくなる。一部でガス、水道停止、停電。

震度6強

立ってられない。重い家具のほとんどが転倒。戸が外れて飛び、広い地域でガス、水道停止。一部の地域で停電。

震度7

自分の意思で行動できない。大きな地震が発生する。

東日本大震災(港区)

東日本大震災(宮城)

気象庁震度階級関連解説表より作成

マンション住民つなぐ緩やかなネットワークづくり

赤坂バインクレスト女性の会発起人 中野 義子さん(赤坂バインクレスト管理組合 理事)

月に1度、同じマンションに住む女性たちが、中野さん(写真左から3番目)の部屋を訪ねます。8月に行われた通称「女性の会」には8人が集まり、家族の健康管理や近隣の商店の情報などの身近な話題について、時に持ち寄ったお菓子をつまみながら、思いを話したり、話を傾けました。参加費は無料で、帰り際には参加者全員の名前、部屋番号、連絡先が記載されたリストを配布します。『「ここにちはな」がモットー。緑のような場所にしたいです』と中野さん。会が出来てからマンション内の挨拶が増えたと、参加者は話します。

会の発足は昨年8月。100戸以上の住居の表札はほとんど出ておらず、マンション内に誰が住んでいるのかも分からない中からのスタートでした。中野さんは、共有スペースの掲示板に掲げた初回の開催を告知する貼り紙に、こう綴りました。

「誰からも疎遠な暮らしを歩きたい人あり、孤独に不安を抱える人あり、さまざまですが、何かの折には近隣が頼りになることを知るのは心強いはず。そのためには、日ごろから声を掛け合いやすい環境を作っておくことは大切でしょう。そんなマンションコミュニティにするために、女性たちが知恵と力をを出し合ってくださいませんか?」

こうした気負わない、緩やかなネットワークづくりで、会にはさまざまな年代の女性が顔を見えるようになりました。東日本大震災後、マンション内では安否確認の連絡を取り合い、買い占めで商品が手に入りづらくなる状況下では「足りないものはない?」と水や食糧を分け合う姿があったといいます。また、その後に開かれた会では、自宅での家具転倒防止策の工夫を紹介しました。

「自分自身を守るためにも、普段からマンション内の住民の方のことを気にして、顔を合わせる機会づくりを」と中野さんは呼び掛けています。

ポイント

●普段からの交流が、緊急時の助け合いのネットワークになる。

●近隣に住んでいる「災害弱者」である高齢者(特に独居)や障害者、外国人などを把握する。

ポイント

●東日本大震災発生後の避難所運営は、いかがでしたか?

A 原則として、避難所は自宅が被害を受け、生活を続けることが困難になってしまった人たちの一時的な生活の場と位置づけられています。地域住民の中には余震の不安等から避難された方も若干名いらっしゃいましたが、ほとんどが帰宅困難者でした。「自分の身の安全は自分たちで守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」という自助・共助の精神で、町会・自治会・事業所との協力・連携づくりを構築していきたいと思います。

●東日本大震災発生後の避難所運営は、いかがでしたか?

A 原則として、避難所は自宅が被害を受け、生活を続けることが困難になってしまった人たちの一時的な生活の場と位置づけられています。地域住民の中には余震の不安等から避難された方も若干名いらっしゃいましたが、ほとんどが帰宅困難者でした。「自分の身の安全は自分たちで守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」という自助・共助の精神で、町会・自治会・事業所との協力・連携づくりを構築していきたいと思います。

災害時のココロのケアについて

和田秀樹先生(精神科医)

青山の国際医療福祉大学大学院で教鞭をとられていた和田秀樹先生に精神科医の立場から、防災と医療に関わるお話を伺いました。

人は、災害などの惨事が起きたとき、突然、鬱になるなど具合が悪くなることはあまりありません。環境の変化で、不眠、栄養不足、運動不足により神経伝達物質に異常をきたし、後々鬱になりやすくなることはあります。睡眠、タンパク質摂取、太陽に当たることが重要です。被災していない人でも、驚愕はしてはいけないと思う人もいます。

保存版 防災役立ちミニ情報

左の点線から切り取り、目につきやすい場所に貼っておくと便利です。コピーして複数箇所に貼るのもOK!

非常持出品

できるだけコンパクトに。そして定位置に。

貴重品

小口現金・硬貨・通帳・印鑑など

身分を証明する物

保険証、免許証など

非常食

水・カンパン、缶詰、栄養補助食品、離乳食・粉ミルク、レトルト食品など

携帯ラジオ・懐中電灯・予備電池

ラジオなど

応急医薬品・常時飲んでいる薬・お薬手帳

生活用品

着替え、タオル、ウェットティッシュ、ビニール袋、軍手、雨具など

その他、自分と家族で特に必要なもの

非常備蓄品

飲料水、非常食は最低3日分。

飲料水

水1日3リットル×人数×日数

非常食

カンパン、缶詰、レトルト食品、栄養補助食品、菓子など

燃料

卓上コンロ、ガスボンベ、固形燃料など

情報機器

ラジオなど

生活用品

使い捨てカイロ、トイレ袋など

その他、自分と家族で特に必要なもの

※雑誌やテレビなどで紹介されている防災グッズも要チェック! ※区のあっせん制度もあります。

あなたと家族の避難場所

※お住まいの地域の一時集合場所、避難所、広域避難場所などを、確認し記入しておきましょう。

一時集合場所

広域避難場所

避難所

二次避難所

あなたと家族の集合場所

災害時の連絡ガイド

※複数の連絡手段を確認し記入しておきましょう。他にも、遠方の親戚、知人を経由した電話(国内、海外)などで安否確認を。

氏名

連絡先

a. 災害用伝言板サービス

各社携帯メニューから。パソコンからも確認OK

b. 災害用伝言ダイヤル(171)

携帯、公衆電話もOK

c. 災害用ブロードバンド伝言板(WEB171)

https://www.web171.jp

d. 携帯電話のメール、ショートメール

e. SNS(ツイッター、フェイスブック等)

f. 公衆電話

g. 固定電話

赤坂地区総合支所で入手できるパンフレット類

区では防災に関する各種パンフレットを作成し、ご希望の方に配布しています。★印のパンフレットは、港区のホームページでもご覧いただけます。http://www.city.minato.tokyo.jp/

「大震災に備えて」

地震の基礎知識、非常持出品・備蓄品、地震の際の行動マニュアル、家の安全対策など、地震に関する総合パンフレット。

「港区 赤坂・青山地区防災マップ」

赤坂・青山地区の一時集合場所や避難所、広域避難場所などを示したポケットサイズの防災マップ。

「港区防災地図」

港区全域の避難所や広域避難場所などを示した防災マップ。

「事業者向け防災マニュアル」

大震災に備えて、事務所が事前に行うべき対策などを示したパンフレット。

「マンション防災ハンドブック」

高層住宅の多い港区の実情にあわせた、マンションに特化した防災の手引き。

防災に関するご相談・お問い合わせ

港区防災課 電話:3578-2111